

# 留萌市地域おこし協力隊

留萌市地域おこし協力隊とは、留萌で地域の皆さんと協力し、さらに活気と元気で輝くまちにするため、道内都市部から留萌市内に移住してきた若者たちです。



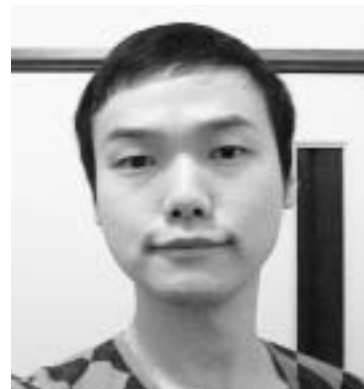
鬼塚 将太 隊員

佐藤「地域住民の方々とコミュニケーションをとったり、イベントにも参加させていただきましたが、皆さんとても親切、ていねいに対応していただき、人間味があふれる方がたくさんいるという印象です」

鬼塚「留萌の方々はパソコンの技術力が高いことに驚き、また、多くの方が健康に高い関心をお持ちのためか、元気な印象を受けました。私も、留萌の夕陽を改めて眺めて感動し、携帯電話の待ち受け画面にしています」

実際に留萌市で活動してみても印象を教えてください

校や、今は使われていない幌糠中学校を有効活用しながら、地域を元気にしていくことをメインに取り組んでいます」



前田 大輔 隊員

皆さんの目標を教えてください

佐藤「礼受地区の活気と元気づくりのため、もう一度、旧礼受小学校を地区のシンボルにし、さまざまな分野の方々と話し合い、協力し合って地域の活性化に貢献できるようにイベント行事などを立案し、催していきたいです。また、礼受の漁師の方々から漁業ノウハウを習得させていただき、起業、もしくは就業するために活動します」

鬼塚「安心で安全なおいしい留萌の農産物を広く情報発信していきたいと考えています。また、留萌で活躍している方々や暮らしている子どもたちと交流を深め、留萌の魅力をたくさんの方に伝えていきたいです。そして、留萌の方々と一緒に地域おこしの活動をしていきたいです」

地域おこし活動に取り組んでいる佐藤雄一郎隊員、鬼塚将太隊員、前田大輔隊員にインタビューを行いました。

なぜ留萌市の協力隊に応募すると決めたのですか

佐藤「帰省した際に地域おこし協力隊の記事を読んで興味が湧き、インターネットで調べると、子どもの頃には家族で何度も遊びに来て良い思い出がある留萌市が募集していることを知り、将来は漁業関係の仕事をしたいこともあって、海がある留萌で協力隊員の活動をしたいと思い応募しました」

鬼塚「交流のある札幌のNPOから、留萌市の地域おこし協力隊のことを聞き、留萌は幼いころからの思い出がたくさん詰まったまちで、また、実際に今の留萌を見に来て、海と山の両方の環境がそろった地域性に優れたまちだと感じ、留萌の人と一緒に地域おこしに携わっていききたいと思い応募しました」

前田「昨年、旧礼受小学校を活用した『れうけ・ぷ』事業に参加した際に地元の人たちとふれあう機会があり、また、佐賀番屋の見学や日本海に沈む美しい夕陽に感動して、潮

## 隊員のプロフィール

佐藤雄一郎 隊員(32)

士別市生まれ

北見工業大学大学院卒業後、ホタテの養殖の手伝いをしていました。

身体的にも精神的にも自信があり、どんな仕事でも取り組んでいきたいと考えています。

鬼塚将太 隊員(31)

深川市生まれ

地域との交流の中、新たなコミュニケーションの輪を広めている。

また、ビリヤード大会などのイベントの企画・運営の経験もあるほか、ボランティア活動にも参加協力している。

前田大輔 隊員(29)

小樽市生まれ

4月から新たに協力隊の隊員となったが、昨年8月に旧礼受小学校で行われた『れうけ・ぷ』開催事業スタッフとして参加するなど意欲的で、自らの特徴の芸術活動を活かした校舎利活用案をすでに考えている。

皆さんと一緒に  
地域の元気をつくっていきます  
今後ともご協力よろしくお願いします

留萌市地域おこし協力隊に関するお問い合わせは 市・企画調整課 ☎42・1809



佐藤 雄一郎 隊員

の匂いのする留萌にますます興味を持ち、この地域の力になりたいと思い応募しました」

皆さんはどのような活動をされているのでしょうか

佐藤「主に礼受地区を担当し、地域イベントへの積極的な参加、地域住民とコミュニケーションを取り、信頼関係を築き上げて、その地域が抱えている問題点、課題の解決に向けての取り組みをしています」

鬼塚「留萌の農村部の地場産品などを広く道内外にPRする活動を担当しています。そして、留萌の方々と力を合わせながら、地域が抱えている問題や必要なことなどを共に考えて、一緒に解決していくことを目指しています」

前田「廃校となっている礼受小学